

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年5月15日

事業所名 Kidsさぼーとあつき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法令を遵守したスペースを設けている。
	2	職員の配置数は適切である	○			法令で必要とされる配置数に加え、それ以上の指導員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		廊下 <sup>りた</sup> い時やリラックスしたい時のスペース分けをしている	段差解消スロープ等で対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、振り返りをした記録を共有している。	PDCAでの目標を立てミーティングの振り返り等で問題解決や業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価表は今回が初めてになるが、保護者の生の声を聞き、業務改善や活動内容の向上につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		業務改善に繋げていけるように今後検討していく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		利用児の特性や症状について調べ、利用児と照らし合わせて研修を行っている。	研修は毎月1回行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者や先生等との聞き取り等情報共有に努めている。	計画期間ごとに聞き取りや情報共有に基き個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールを用いて随時改良更新を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		それぞれ違う観点で案を出し工夫している。	保育士、指導員等、職員間で話し合い立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児や保護者の方の意見にも耳を傾け、工夫している。	利用児の個性・特性・興味に応じて、集団生活や個別活動の機会を持てるように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		他事業所の取り組み等も参考にしてている。	平日は短時間で実施できる課題や活動を、長期休暇には、時間をかけて楽しみや達成感を味わえる活動に努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用児のその時の状態や状況に合わせて計画を考えて作成している。	利用児に合わせて、集団活動と個別活動を経験できるように組み合わせ計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々の留意事項や関わり方をその都度口頭他チャットやボードで共有。	支援前のミーティングで、その日の利用児に合わせ関わり方や留意事項を確認し保護者や学校からの報告も口頭とホワイトボードで共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の振り返りに基づき気づき等の話し合いをしている。	毎日、利用児全員の振り返りを行い、経過記録を記入し、気付いた事や改善項目を共有し、今後の支援の改善に努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援などの記録をチャットなどで共有している。	連絡帳や振り返り等の記録を徹底し、支援の検討改善につなげている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		利用児の成長や状況の変化に応じて見直しを判断している。	定期的にモニタリングを行い、課題や到達度を確認しながら支援計画の見直しの必要性を判断している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			ガイドラインに沿って発達支援・家族支援・地域支援を組み合わせ支援を行っている。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者等、利用児の状況や様子をしっかりと把握して参画し情報共有を図っている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校や先生等と連絡を取り合い、利用児の心身の状態や変化等の情報共有に務め送迎の連絡等も保護者も含め図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	保護者の方を通して主治医等と連絡体制を整えたり訪問看護師と連絡を取ったりしている	保護者とともに主治医の情報を聞き取り学校の看護師や訪問看護師とも連絡を取り合いながら行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学以前からの利用していた所とは出来ていないが、相談支援専門員や父母などから情報をもらっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業した利用者はいなかった。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	他事業所等の助言等を受け実践している。	発達支援センター等から助言などを受け実践している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園や広場等で障がいのない子ども達と一緒に遊んでいる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		積極的ではないが、時間があれば参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	保護者の方とは出来るだけたくさん話すようにしている。	連絡ノートの他に直接に話し合ったり電話でも発達の状況や状態を共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ペアレント・トレーニングは実施していないが相談やアドバイス等は行っている。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	出来るだけ解りやすく端的に説明するようにしている。	ご契約時に必ず読み合わせを行ない、説明を行った上、ご確認いただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	保護者の方とは出来るだけたくさん話すようにしている。	その都度、直接や電話等で悩みや相談をお聞きしながら一緒に考え、助言と支援を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今後は、積極的に行っていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時のみならず、苦情に関する窓口を案内し苦情以外にも気軽に連絡体制を取っている。今のところ苦情はないが、要望等に適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動概要や行事予定等は毎月の他、その都度お知らせしている。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人ファイル等個人情報書類は鍵付き書庫で保管し取り扱いについては十分気を付けている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個人の状態等に応じて意思疎通や情報伝達には配慮しコミュニケーションを取っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		要請があれば、対応するがなかなか積極的には行けていない

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		さまざまな想定をした避難訓練を実施している	保護者様に周知できていない部分もあるので今後周知していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		迅速に行動出来るように担当や役割をめぐらしている。	避難訓練等、職員や利用児で実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止の研修を行い、理解を徹底し意識向上に努めている。
	41	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底している	○			身体拘束の利用児も事例もないので計画記載していないが、保護者の方には事故の際の静止の方法等について確認をしている。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			保護者の方には必ずアレルギーの有無に関して聞き取りを行い対応している。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		父母などから聞き取りを行い、アレルギーには注意をはらってはいるが、指示書まではもらっていない
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			